

静岡大学の現在

参加無料
定員:100名
(各回)

極限の光を駆使したナノフォトニクス、生物や地層に潜む資源を活かしたイノベーション、人工知能(AI)の可能性を拓げる取り組み——今年度の静岡大学・中日新聞連携講座は、現在、静岡大学の様々な領域で展開しているチャレンジを紹介します。

第1回 2018.9.11 (火) 18:00～19:30

ナノフォトニクス最前線 ～レーザーが拓くナノテクノロジー～

レーザー光を用いて小さな構造を観察したり、加工したり、制御したりする最新の光技術について紹介します。レーザー光を用いると細胞の微小な器官の動きを観察したり、細胞に刺激を与えたりすることができます。電子線と組み合わせた高分解能な顕微鏡も紹介します。

講師：川田善正（静岡大学工学部長）

同日開催

9/11 (火) 16:00～17:30

2018年度 後学期
静岡大学市民開放授業
事前説明会

第2回 2018.10.9 (火) 18:00～19:30

カイコは素晴らしいバイオファクトリー

カイコは桑の葉を食べて、人類にシルクを与えました。最近、カイコは犬や猫のインターフェロンを生産し、医薬品を生産するバイオファクトリーとして注目されています。本講座では、カイコによる持続可能な新産業創出の可能性を探ります。

講師：朴 龍洙（静岡大学グリーン科学技術研究所長）

第3回 2018.11.13 (火) 18:00～19:30

海底堆積物からの贈り物、メタン！～基礎研究から社会実装まで～

静岡県中西部は“付加体”という厚い堆積層からなります。付加体の深部帯水層には地熱によって温められた地下水とメタンが蓄えられています。本講演では、付加体の深部帯水層でのメタン生成メカニズムについて解説します。また、これらのメタンを利用した分散型発電システムについて紹介します。

講師：木村浩之（静岡大学グリーン科学技術研究所・理学部教授）

第4回 2018.12.11 (火) 18:00～19:30

人工知能が拓げる農業の可能性

農学はもちろん植物生理学や植物生態学の知見を得ながら、IoTや人工知能(AI)といった情報科学を用いた植物との対話への挑戦によって拓げる農業の可能性について紹介します。

講師：峰野博史（静岡大学情報学部教授）

第5回 2019.1.22 (火) 18:00～19:30

コンピュータは言語を操れるか ～自然言語処理による知的システム構築の挑戦～

人間の言語（日本語や英語）をコンピュータで扱う分野である自然言語処理について、大学入試や司法試験の自動解答、自動診断支援、対話システム、文生成など研究テーマの紹介を通じて現状と難しさをお話しします。

講師：狩野芳伸（静岡大学情報学部准教授）

●会場：静岡大学浜松キャンパス附属図書館浜松分館(S-Port)3階大会議室

(住所:浜松市中区城北3-5-1)

JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス下車(所要時間約20分)。

申込方法

公開講座のウェブサイト(<http://www.lc.shizuoka.ac.jp/index.html>)から

お申込みください。下記の方法からのお申込みも可能です。(先着順)

(FAX) 054-238-4295 (Eメール) kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学地域創造教育センター 連携講座係

※氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号、参加される回を明記してください。

お問い合わせ

静岡大学 地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門

TEL 054-238-4817 [平日9:30～16:00]

メール:kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

主催：静岡大学・中日新聞東海本社